（第２号様式）（用紙日本工業規格Ａ３横長型）
神奈川県教育委員会教育長　殿

提出日：令和５年４月 20 日
学校名：県立秦野支援学校

令和５年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取　組　の　内　容		校　内　評　価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	・自立と社会参加をめざし、一貫性・系統性のある「秦野らしい」教育課程の整備とそのしくみの確立、及び専門性維持向上のための取組を進める。	①小中高の一貫性・系統性の視点から教育課程の整備を完了する。 ②個別教育計画を活用した授業づくり・授業改善システムを継続しながら計画の評価への反映を模索する。	①これまで見直された各部門課程の教育目標や個別教育計画について一貫性・系統性の視点から検証する。 ②個別教育計画を踏まえた授業評価をもとに、一貫性・系統性の視点から評価の観点など統一的な評価を検討する。	①各部門課程の教育目標や個別教育計画について一貫性・系統性の視点から検証し、改善方策を見出せたか。 ②一貫性・系統性の視点から統一的な評価が検討され、次へつなぐことができたか。					
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	・児童生徒の個性を尊重し、多様な教育的ニーズに配慮しながら、「自己実現」と「共生」をめざした指導・支援を組織的に行う。	①児童生徒の多様な教育的ニーズに対し、客観性・根拠に基づいた指導支援を全校的に継続して行う。 ②人材活用と学び合いを進め、専門性の一層の維持向上を推進する。	①アセスメントツール等による的確な実態把握に基づく学習支援をすべての部門課程で実践する。 ②専門職等との連携等とあわせて、人材活用の具体的な取組を各部門課程で進める。	①すべての部門課程でアセスメントツール等による的確な実態把握が行えたか。またそれを、目標設定や日々の指導に活かせたか。 ②人材活用が各部門課程で取り組むことができ、有効な指導・実践につながったか。					
3	進路指導・支援	・児童生徒一人ひとりの「夢の実現」や主体的な進路選択に向けて、障害特性や発達段階に応じた指導・支援を、保護者や関係機関との連携の下で進める。	①児童生徒、保護者が見通しを持てるような指導・支援を継続するとともに早期からの情報提供を充実する。 ②スポーツや文化活動等への取組をとおして、児童生徒の余暇活動の一層の充実を図る。	①キャリア・パスポートや個別教育計画の活用を継続とあわせて、小中学部の段階から積極的に情報発信に取り組む。 ②様々なスポーツへの関わりや文化活動等を経験する機会に積極的に参加する。	①本人・保護者の意向を聴き取り、児童生徒の自信や意欲につなげられたか。また、積極的な情報発信を実践できたか。 ②スポーツや文化活動等に対する児童生徒の興味・関心が持続・継続して高められる機会を確保できたか。					
4	地域等との協働	・他者を尊重し、多様性を認め合う共生社会の実現に向けて、支援教育及びインクルーシブ教育を「地域とともに」推進する。	①地域の学校との交流及び共同学習の更なる推進とともに、以降の発展的取組の検討を進める。 ②病弱教育部門の移行・復学支援システムの一層の定着化を図る。	①地域の学校との交流及び共同学習の恒常化と併せて、課題を洗い出し発展させていく取組を行う。 ②システムに即して転出入事務を行うとともに卒後・復学後を見据えた学びの充実に継続して努める。	①地域の学校との交流及び共同学習を恒常的に実施できたか。また、課題の検討、発展を企図できたか。 ②移行・復学支援システムの一層の定着化を図ることができ、児童生徒の学びの連続性に寄与できたか。					

5	学校管理 学校運営	・保護者、地域、関係機関等から「信頼される学校」をめざし、児童生徒が安全に安心して過ごせる教育環境を整備する。	①児童生徒のいのちと人権を守り、安全・安心で居心地のよい学校生活を継続・維持する。 ②教員が指導に精力を傾けられるよう業務改善を継続して進め、長時間勤務を是正する。	①常に子どもの視点に立ち、施設設備の点検や、訓練、研修に取り組み、各教員が「自分事」として課題を共有して種々の活動を行う。 ②地域人材の活用、定例会議での業務改善策の検討、業務マネジメント等を継続し些細なことでも工夫を共有し具体にしていく。	①児童生徒が安心して過ごせるよう、「自分事」として課題を共有して種々の活動を行い事故の未然防止や安心な学校生活につなげられたか。 ②校内全部署、全職員が当事者として業務改善に関わり共有することで、具体的な改善方策を実施することができたか。					